



日本の原風景がここにある
井内の棚田で田植え

5月10日⑩に、井内の棚田で田植え体験が行われ、地元住民、井内棚田 FANCLUB 会員、県保険医協会会員など 43 人が参加。泥だらけになりながら田植えをした後、地元の皆さんが作った井内米のおにぎり^{たかし}と豚汁を味わいました。家族で参加した関口隆さんは「初めての田植え体験でした。子どもたちは普段、どうやってお米が作られているか知る機会がないので、とてもいい経験になりました」と話していました。

どろんこになってなんぼ
東谷っ子たちが田植え

5月7日⑨に、東谷小学校の全校児童が、地域の人に教わりながら田植えを体験しました。子どもたちは裸足で田んぼに入り、泥の感触を楽しみながらその楽しさと大変さを体感。時には尻もちをついて笑い声が溢れるなど、田植えが終わる頃には全身泥だらけになっていました。

苗が育ったら、稲刈り、餅つき、しめ縄飾り作り、そして、しめ縄龍作りが行われる予定です。



百十桜を愛でながら
五柱神社で春祭り

4月12日⑧に、奥松瀬川の五柱神社^{いつはしら}で春祭りが開催されました。春祭りは同神社で代々行われてきた行事で、平成 30 年以降は太鼓の演奏や食べ物の販売、餅まきが行われるなど、地域のイベントとして賑わっています。

この日は、神社の側にあるしだれ桜^{ももと}「百十桜」が満開で、訪れた人は桜と新緑に春を感じながら、祭りを楽しんでいました。



こいのぼりが地域の絆を繋ぐ
山之内のこいのぼり

4月26日⑧から5月10日⑩まで、山之内の除ヶ^{よけ}の堰堤^{えんてい}と神子野グラウンドにこいのぼりが掛け渡しされました。32 回目を迎えた今年は、4月26日⑧に神子野グラウンドにキッチンカーが出店。掛け渡し作業に参加した地元住民、北吉井三島会、マドンナジュニア愛媛、県立東温高等学校の生徒などが美味しいものを食べたり、紙飛行機大会を開催して交流するなど、こいのぼりが地域の絆を繋ぎました。



今年も歴史ある剣道大会開催
第 72 回奉納剣道大会

5月5日④に、横河原水天宮春季大祭で奉納剣道大会が開催されました。同大会は、昭和 23 年に始まった歴史ある野試合形式の剣道大会で、約 250 人の小、中学生が出場しました。境内に設けられた特設会場では、選手たちが普段と異なる環境の中、靴を履いて熱戦を繰り広げました。また、会場では子ども向けの催しも行われ、家族連れが輪投げ、ビンゴ大会、おもちゃすくいを楽しんでいました。





オカリナの音色で地域に癒しを届ける 「とうおんぷ」が社会福祉奨励賞を受賞

4月7日(火)に、とうおんオカリナ研究会「とうおんぷ」の山内英彦さん(写真右から2番目)と近藤亨さん(写真左から2番目)が、(公財)関奉仕財団の第20回社会福祉奨励賞を受賞し、市長に報告を行いました。この賞は、教育文化・社会福祉分野で地域に貢献した団体に贈られるもので、同研究会は約10年にわたり福祉施設や保育園で訪問演奏を行い、高齢者の心のケアや世代間交流に貢献したことが評価されました。

長年にわたり地域の高齢者のために尽力 厚生労働大臣特別表彰を授与

昨年11月末で民生委員・児童委員を退任された鈴木ヤエ子さん(写真中央)に、厚生労働大臣から特別表彰が授与され、5月11日(水)に、市長から表彰状が伝達されました。鈴木さんは、平成16年に民生委員・児童委員を委嘱されて以来、高齢者の見守り活動を行うなど多年にわたり貢献されました。鈴木さんは、「表彰していただき、ありがとうございます。多くの人に支えていただき、感謝しています」と笑顔を見せていました。



CRO × SPO 東温のオープンに向けて 愛媛 FC と協定を締結

4月28日(火)に、愛媛 FC と協定締結式を行いました。この協定に基づき、愛媛 FC は CRO × SPO 東温を新たな活動拠点とし、施設 PR の協力及びサッカー教室など多様なスポーツ交流活動を展開します。また、協定に合わせ、同施設整備に賛同及び応援をいただき、人気サッカー漫画「アオアシ」作者の小林有吾氏の全面協力により、施設 PR のための同氏描き下ろしキャラクターによるのぼり旗や看板が市内各所に設置されます。



● CRO × SPO 東温の今後のスケジュール

スケジュール	活動予定
令和8年5月	愛媛 FC ・小林有吾氏の全面協力による事前周知 PR を開始
令和9年1月	スケートボード場使用開始予定
令和9年4月	天然芝サッカーグラウンド、シクロクロスコース、交流拠点施設使用開始予定
令和9年5月頃	オープン記念イベント開催(予定)



自然の魅力を守り、次世代へ繋ぐ 上林の風穴が国の記念物に登録

4月7日(火)に、上林の風穴が国の記念物に登録され、市長から文化庁の記念プレートが上林区生産森林組合に伝達されました。同組合の菅野慈さんは、「地域として大変ありがたく、大きな節目となりました。今後も、日常的に登山道の草刈りや見回りなど保全活動を続け、自然の良さを大切にしていきます。夏の暑い時期には、涼を求めて多くの人に訪れていただきたいと思います」と今後に向けた思いを話していました。

「どてかぼちゃカーニバル」の思いを未来へ 歴史を刻んだ記念トロフィーを市に寄贈

5月7日(水)に、市青年農業者協議会の沼雄索会長が、どてかぼちゃカーニバルで長年使用された記念トロフィーを市に寄贈しました。同イベントは、地域農業振興と交流を目的に40年にわたり開催されてきましたが、猛暑や担い手不足の影響を受け、昨年度を一区切りとしました。今年度からは、「ハロウィン」をテーマにした、新しいイベントが開催される予定です。



楽しく学ぶ交通安全 交通安全ドリルを市に寄贈

4月3日(金)に、ETPホールディングス(株)から「うんこ交通安全ドリル」546冊が寄贈されました。このドリルは、子どもたちがユニークな問題を解きながら交通安全を楽しく学べる内容で、市内小学校に配布されます。八木教育長は、「子どもたちがドリルの学習を通じて、交通ルールを楽しく身に付けてくれることを期待しています」と話していました。

境内に響く吹奏楽の優しい音色 第1回天満神社ブラスコンサート

4月11日(土)に、志津川の天満神社でマーブルアース★ママブラスによるコンサートが開催され、多くの来場者で賑わい、子どもたちは奏でられる吹奏楽の音色に合わせて体を動かすなど、音楽を楽しんでいました。イベントを主催した志津川たんぼの会の松末千鶴さんは、「多くの人たちの協力で開催することができました。訪れた人たちが楽しむ姿を見ることができ、嬉しいです」と笑顔を見せていました。

